

重信川自然再生事業の泉再生を活用した環境教育の展開について

(株)四電技術コンサルタント 正会員 ○甲斐崇 (株)四電技術コンサルタント 正会員 福井哲也
(株)四電技術コンサルタント 正会員 渡辺美樹

1. はじめに

近年における、都市化の進行、地下水開発および河川改修などの人為的な活動は、河川およびその周辺の環境に影響を及ぼしている。愛媛県を流れる一級水系重信川の沿川では、環境への影響として、瀬切れ(川の水が枯れている場所)範囲の拡大、水質の悪化および泉や霞堤の消失などがみられている。これらの影響のなかで、瀬切れ範囲の拡大による水面の連続性の分断は、魚類や底生動物などの移動経路の遮断および生息空間の減少ならびに消失をまねくことから、水生生物に与える影響は特に大きいものであると考える。

重信川では、これらの状況をふまえて、悪化している重信川の環境の保全・再生を目指し、「重信川の自然をはぐくむ会」が2003年(平成15年)に設立された。「重信川の自然をはぐくむ会」は、愛媛大学、NPOおよび行政などの組織により構成され、各組織の協力および連携により運営されている(図-1)。現在までに、「重信川の自然をはぐくむ会」が中心となって、泉の再生「松原泉」、霞堤の湿地環境の再生「広瀬霞」および河口部「ヨシ原」の再生が実施された。

本報告では、これら再生事業のうち、泉の再生を行った松原泉を活用した環境教育の取組について紹介する。

2. 松原泉再生(泉の再生)事業の概要

地元の方への聴取によると、かつての松原泉では、湧水泉からながれる小川が重信川とつながっており、泉や小川の周辺は林に覆われ、自然豊かで、子どもたちの遊び場となる場所であった。しかしながら、松原泉は、昭和30年代の河川工事に伴い埋め立てられ、その後は運動公園や広場として利用されることとなった。

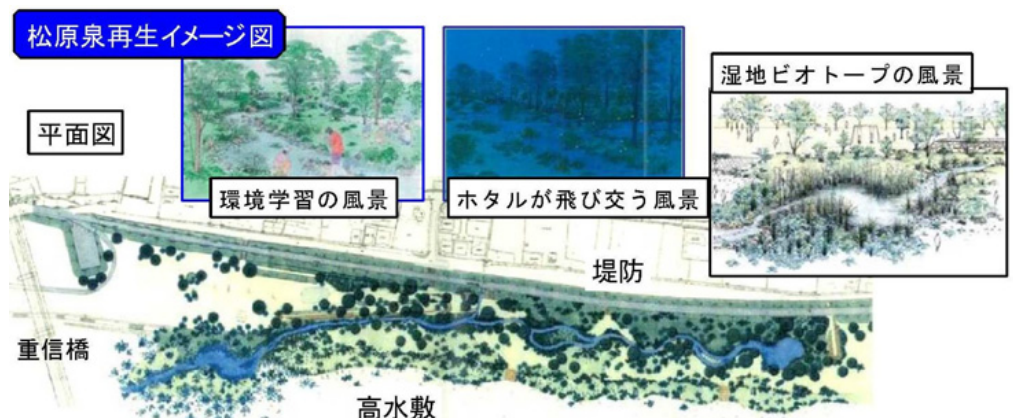


図-2 松原泉再生イメージ図

そこで、松原泉自然再生事業では、かつての松原泉を再生するとともに、松原泉と重信川をつなぐ小川を再生し、水と緑のネットワークの形成および拡大を図るための事業の実施が行われた。事業は2004年から2007年(平成16年から平成19年)にかけて実施された。松原泉の再生イメージを図-2に示す。

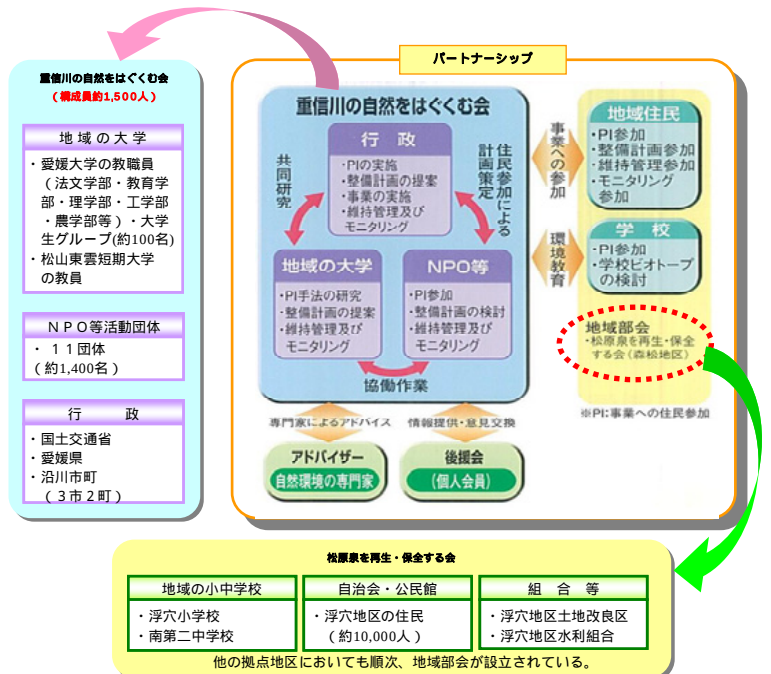


図-1 重信川の自然をはぐくむ会の構成と役割

3. 松原泉を活用した環境教育への取組内容

松原泉では、自然再生事業後に、自然再生事業をテーマとした環境教育を行った。環境教育は、地元小学校のクラブ活動と夏休みのイベントとして実施された。また、環境教育にあたっては、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所、愛媛大学重信川エコリーダーと連携・協力のうゑで実施した。

(1) 地元小学校のクラブ活動による環境教育への取組

地元小学校のクラブ活動は、事業中の 2005 年（平成 17 年）から事業後の 2009 年（平成 21 年）まで自然再生事業の簡易的なモニタリング調査の位置づけで実施された。実施状況について右に示す。

環境学習の目的は、野外活動・自然体験を通じた学びとし、それによる自然への興味・関心の促進をねらいとした。学習にあたっては、体験・参加型となるように配慮し、松原泉での生物調査を基本プログラムとした。学習で行った調査の結果は、「重信川フォーラム」で子どもたちによる発表を行った。また、調査の結果は、「住民参加による簡易モニタリング調査結果」として活用した。

作成した教材や成果の一例について図-3 に示す。

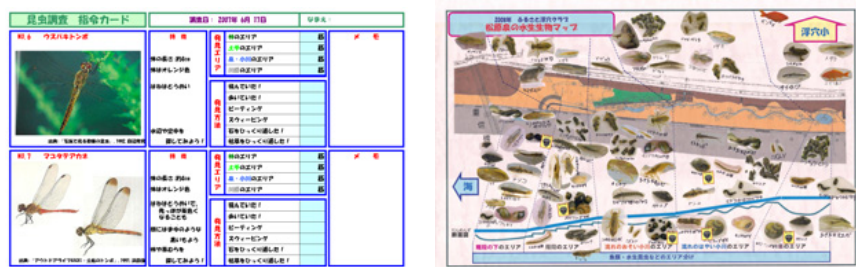


図-3 作成した教材や成果の一例

(2) 夏休みのイベントによる環境学習への取組

夏休みには、昆虫教室のイベントとして、2012 年（平成 23 年）も環境学習を実施した。夏休みのイベントにおいても調査結果は松原泉の簡易的なモニタリング調査の位置づけとして活用した。

夏休みのイベントは、地元の公民館と連携し、実施した。イベントにおいては、学識者の出前講座を依頼し、松原泉での虫取り後には座学を実施し、調査結果をイメージマップとして取りまとめた（図-4）。



キックオフ（自己紹介など）



水生昆虫取りのようす



取った虫などの同定



図-4 昆虫教室の調査結果

4 . おわりに

これまでに紹介してきたように、松原泉で再生された泉や小川は、環境教育の場として活用され、さらに環境教育で得られた調査結果は簡易的にモニタリング結果として利用されている事例を示した。本報告では松原泉について紹介したが、他の自然再生事業箇所である霞堤の湿地環境の再生「広瀬霞」および河口部「ヨシ原」においても環境教育の取組は行われており、産官学が連携・協力した事業が実施されている。

末尾ながら、本報告にあたり資料等提供いただきました国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所の皆様に心より感謝申し上げます。